



国際会長 (IP) K.C.Samuel (India)

“Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”

「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

アジア太平洋地域会長 (AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

“Elegantly Change with New Era”

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 (RD) 佐藤 重良 (甲府21)

“Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

湘南・沖縄部部长 (DG) 小松 仲史 (厚木)

「楽しく・元気よく・前向きに」 副題: 入りたくなるワイズにしよう

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「他者と共に生きる ~ 平和を求めて」

“Live together in harmony ~ for Peace”

監事 松島 美一

ブリテン 伊藤 誠彦

担当主事 立花 明美

会長 古賀 健一郎

副会長 古田 和彦

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古田 和彦

## <今月の聖句>

田口 務

「木には希望がある、というように  
木は切られても、また新芽を吹き  
若枝の絶えることはない。」

(ヨブ記14章の7節)

## 今月の一言

### 「核兵器による脅迫の居場所はない」

古賀 健一郎

今年度は『他者と共に生きる～平和を求めて』をクラブ主題に掲げてきた。

横浜 YMCA は韓国の光州 YMCA と45年間に亘る交流を続けている。韓国では今年の5月18日に光州民主化運動から43年目を迎えた。社会の不正義に毅然と抵抗し多くの市民、特に青年たちが犠牲になった民主化運動だったが、43年が過ぎた今でも、ミャンマーなど他国において、独裁的、軍事主義的権力下で、暴力的支配により人権や自由が奪われている。

ロシアのウクライナ侵攻など、紛争や戦争は、私たちの世界

で止むことはない。

先日『横浜 YMCA のミャンマーのための特別祈祷会』に参加し、ミャンマー出身の牧師のメッセージをお聴きした。「ミャンマーにおいて、国民が選んだ政府が排除され、非暴力のデモが銃で弾圧されている。独裁的で軍事主義的権力の下で自由が奪われ、暴力的支配により人権が奪われている。命の為に、生きる為に、今日も逃げ続けている人がいる。安全なところがなく、食べ物がなく、人々が苦しくて絶望的な状況に置かれている・・・。」

コロナ危機、さらには平和が脅かされている厳しい現実において、横浜クラブは長年にわたり横浜 YMCA カレッジグループと共催の日本語スピーチコンテストを通して、参加者との親睦例会、そしてチューター活動...など、慣れない生活、経済面などに不安を感じる外国人留学生に、あらゆる可能な支援を実行継続中である。

横浜 YMCA カレッジグループには、25の国・地域、百名近くの留学生が集まっている。国籍や民族などの異なる人々との交流を通して、お互いの文化的違いを認め合い、互いの長所を見つけること等を大切にし、経済的支援とともに異国での暮らしでの戸惑いや不安を和らげ解消する手助けをした。

田口ワイズ 今月の聖句について

新芽の美しい季節です。6月はワイズをはじめ様々な公益団体等の役員改選の時期ですが、ワイズ、YMCAも、この木のような人材が育成され、代替わりしても、新芽が吹き、若枝がいつも絶えることがない希望がある組織になってほしいと願ってこの聖句を選びました。

## <2023年5月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 8名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 9名	67 % (キー メンバー を含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <6月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
3-4	土		東日本区大会	甲府
6	火	19:00	第98回 Y・Y's 協議会	Zoom
8	木	18:30	第一例会	中央 Y
22	木	17:00	第二例会	Zoom
24	土	15:00	第3回部評議会	中央 Y

しかし、こうした異文化交流を通して、多様な考えをもつ仲間が“一つに連帯し合う”過程において、対立を伴う諸問題が出てくるかもしれない。互いに意見を誠実に突き合わせ、対話を重ねる努力が必要となる。その時こそ、YMCAの『パリ基準』に記された「意見の相違は、それ自体としていかに重要であっても、そのことによって世界同盟を構成する加盟および準加盟 YMCA の間の友好的な関係を損なうものであってはならない。」をしっかりと心に留めたいものだ。つまり“どんなことがあっても、絶対に友好的関係だけは損なわない！”

恐れがこの世界を支配しているような厳しい現実において、「私たちは、微力だけど、無力じゃない」という信念をもって、「苦難の中にいる人たちを励ますこと、弱くされた者たちを助けること、忍耐しながら徹底的に善を行っていくこと」を実行していきたい。そして私たちのこうした着実な歩みから、一つに連帯した“大きな絆”が生まれた時、「共に生きる、公正で平和な地球社会」が創造できると思う。

こうした微力な我々の一つ一つの努力の積み重ねの先に、ウクライナのゼレンスキー大統領が先日の G7 広島サミットで、原爆資料館の芳名帳に記した「現代の世界に核兵器による脅迫の居場所はない」との主張がはっきり実現すると確信する。

## <5月第一例会報告>

大高 治

日時 ; 2023年5月11日(木) 18:30~20:30

場所 ; 中央 YMCA+Zoom

出席者 ; 秋元、大高、古賀、佐竹、立花、古田

ZOOM 参加 ; 伊藤、田口

ゲスト : 入江香寿美氏 (横浜 YMCA 学院専門学校)

司会 ; 古田ワイズ

1. 開会点鐘及び挨拶 ; 古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句 : 秋元ワイズ
4. ゲスト紹介 : 入江香寿美 (横浜 YMCA 学院専門学校)
5. 卓話 ; 「横浜 YMCA 学院専門学校 日本語学科について」
6. 卓話者
  - ★立花明美ワイズ (横浜 YMCA 学院専門学校校長)
  - ★入江香寿美氏 (横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科専任講師)
  - ★秋元美晴ワイズ、古田和彦ワイズ (横浜クラブ)

卓話内容

留学生を取り巻く環境

日本語学校の授業行事内容

チューター活動

という内容でお話しして頂きました。

- 1) 留学生を取り巻く環境  
学生は学生の母国の経済事情だけではなく、日本政府が打ち出している「特定技能」制度や、母国の紛争や内戦からも影響を受けています。留学して来る学生の国や地域同様に、学生を取り巻く環境は様々です。それに合わせて学校も教職員も対応することが求められます。
- 2) 留学生が日本に到着するプロセス  
出願>入管への書類>入管からの証明書受理と幾つものプロセスがあり YMCA が支援しています。
- 3) 国別動向と特色  
現在 25 か国と地域から学生が来ており、主な国・地域は中国、ミャンマー、ベトナム、フィリピン、韓国、スリランカ、インド、タイ、バングラデシュ、ウズベキスタン、ネパール、ラオスなどです。  
以前は漢字圏 (中国、韓国、台湾) からの留学生が多かったですが、今は非漢字圏からの学生が増えています。こうした状況は、自国の経済成長、日本の大震災、コロナ感染の拡大や介護人材を日本に送り出そうとするベトナムの政策も影響しています。
- 4) 学費、生活費との関係  
日本に来るには年間 150~200 万円かかり、両親の借金で日本に来た学生、留学ビザを利用したの出稼ぎが目的の学生、日本文化への興味から日本に来る学生と様々です。
- 5) 学生のレベルと卒業後の進路  
初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級入門、中級Ⅰレベルと進み、そこまでで1年半。その後、6ヵ月掛けて中級Ⅱ、上級Ⅰ、上級Ⅱに進み、日本の大学院・大学・専門学校への進学、日本での就職、など進路は様々です。  
最近の留学生は母国で大学以上の学歴があり、YMCA でも上級以上の学生は就職希望が多く、日本語学習後に就職している学生もいます。
- 6) コロナと学校
  - ・2020年5月から入国出来ず
  - ・2021年から2022年6月まで、海外とオンラインで
  - ・2022年4月から入国制限が解除され、通常に戻っています。
- 7) YMCA の行事への参加
  - ・チャリティーウォーク、チャリティーラン、ウェルカム

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



フェスタ、街頭募金、袴や母国の衣装での卒業式、その他多くの行事に参加しています。

- ・神奈川県主催、YMCA 主催の日本語スピーチコンテストにも参加します。

#### 8) チューター活動

横浜クラブからは古田ワイズ、秋元ワイズがチューターを務めました。

古田ワイズはベトナムからの学生、秋元ワイズは中国からの母親学生を指導しました。週1度で日本語を教えるはいけないという制約がありましたが、それぞれの悩みの相談にのったり、お国の料理を食するなど、有意義であったと述べております。

またそれぞれの学生の今後を案じていることも披露されました。

## 「会員総会報告」

古田 和彦

5月27日(土) 午後2時から4時30分、山手の聖光学院ラムネホールとオンライン併用で横浜 YMCA 会員総会が行われました。リアルは広いホールで間隔をあけて開催できました。但し、決議は昨年同様、6月3日まで書面による意思表示で決することになるので、5月27日は厳密にいうと議案の説明の時でした。

定刻、総合司会の総会準備委員黄崇子さんが開始宣言。続いて、同じく総会準備委員の遠藤真理さん司式により開会礼拝。賛美ののち、聖書、2023年度基本聖句「今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。」(コリントの信徒への手紙Ⅱ8章11節)が読まれ、祈禱がささげられました。次いで、総会準備委員長神作正一郎さんから挨拶のあと、議事の審議となり、議長は常議員会議長の鈴木茂さん(横浜つづきワイズ)。冒頭、総会の成立、賛否の取り方について上記の説明がありました。

議長の指名により、佐竹博総主事が、第1号議案「2022年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2023年度活動方針案及び予算案の承認」を提案・説明しました。その概要は次の通りです。

2022年度は長期計画「VISION2034」の第1期中期計画の2年目として、その実現に努めた。新型コロナウイルスが徐々に収まる中、留学生が戻ってきたこと、夏・冬・春のシーズンキャンプが実施できたことなどから2021年度より回復基調になり、決算も前年度を上回る事ができた。2023年度、長期計画「VISION2323」の第1期中期計画のまとめの年度となる。基本聖句(上記のコリントⅡ8:11)のもと、YMCAが持つスキルとリソースを活用し、新たな社会課題に取り組み続ける、とのことでした。

その後、ユースリーダーによる①「畑の活動」、②YLETの活動報告がなされました。

小休止の後、第3号議案「常議員の選出」が上程され、新任5名、改選(2期目)3名・留任3名の選任が行われました。なお、当クラブの古賀健一郎さん、齋藤宙也さんは、任期満了でお休みとなりました。第4号議案「会員表彰」、46名のリーダーが奉仕賞を受けました。前回に引き続き、会場で

工藤理事長から直接表彰状を渡すことと、それぞれのYMCAでリーダーに表彰状を渡すことが併用され、その様子はオンラインで流されました。また、「奉仕の書」には鈴木茂さん(横浜つづき)が記され、会場で記念の盾を工藤理事長から授与されました。工藤理事長の挨拶、閉会式、佐竹総主事の感謝の言葉で終了しました。

横浜クラブからの参加者は、会場：大高、古賀、佐竹、田口、古田 オンライン：伊藤焔・焔。

## 『近況』

押川 幸男



横浜ワイズの皆さま、お元気で過ごしの事と存じます。

約3年間のコロナ禍の中で、保育施設にも多くの制限がかけられました。2つの教育保育施設を行き来しながらの生活は、まさにコロナウイルス感染症との闘いでもありました。多くの行事が中止となり、子どもたちもその時期にしかできない多くを体験する機会が奪われました。今年度から、新型コロナ感染症もようやく収束に向かいつつあるようで、保育現場でもコロナ禍前の状態に戻りつつあります。子どもたちが困難な時を乗り越え、これからの新しい時代に、より多くの有意義な経験をすることができることを祈念しています。

個人的には、昨年から乳幼児保育に興味を抱き、毎週月曜日の夜6時~9時に開催されていた講座に10月から12月の3か月間新幹線で通いました。その講座の締めくくりとして、6月末に一週間シンガポールの乳幼児保育施設訪問に行く機会が与えられました。また8月にはモンテッソーリ世界大会がタイのバンコクで開催予定で、夫婦で参加予定です。

私自身ここ数年で、足腰も少し弱くなり、海外への旅も心配ですので、行ける時に早めに行っておこうと思っています。横浜ワイズの例会もなかなか参加できませんでしたが、今年は最低一回は参加したいと思っています。皆さまに対面でお会いできますことを楽しみにしています。



職場の職員が描いてくれた  
押川さんの似顔絵

## 第二例会報告

古田 和彦

日時：5月25日(木) 17:00~18:00 (Zoom実施)

出席者：伊藤、大高、古賀、立花、古田

《今後の行事予定の確認》

資料に基づき5月~7月の行事予定の確認

《協議・報告事項》

(1) 6月例会・7月例会

① 6月例会(6月8日) ★クラブ総会準備

- ②7月例会(7月13日) ★クラブ総会
- (2) 横浜 YMCA 会員総会  
★5月27日(土) 14:00~16:30  
(場所)聖光学院ラムネホール
- (3) 第26回東日本区大会のご案内  
★2023年6月3日(土)~4日(日)  
★会場 APIO アピオ甲府  
★詳細は大会ページを参照  
★横浜クラブ出席者 大高、古賀、佐竹、田口、立花、古田(6名)
- (4) 第98回 Y-Y'S 協議会  
★2023年6月6日(火) 19:00~20:30  
★Zoomによるオンライン会議  
★横浜クラブ担当  
★横浜クラブ出席者 秋元、古賀、佐竹、立花、古田
- (5) 今年度 YIA 献金の依頼(東日本区から)  
★YIA 献金 (IYC.AYC 支援、オープンフォーラム Y 支援などのユース活動支援金、@500円/人について、今年度献金することとした。
- (6) ブリテン6月号編集計画の確認  
別途伊藤ワイズからの提示通り承認した。原稿締め切りは6/1(木)



**担当主事 立花 明美**

5月1日(月)、2日(火)は健康教育部と英語学校がお休みとなり、その他英語幼児園と専門学校、アフタースクール(学童)は通常通り行われました。横浜中央YMCAは、休み明けの5月8日夕方より8Fラウンジのテーブル位置と椅子の数を変更し、以前より多くの方が利用できるように変更しました。5月下旬頃には、食事や勉強のため学生や会員の方が少しずつ戻ってきました。今後もそれぞれが気を付けて利用いただければと思います。

- ・5月10日(水) こども食堂
- ・5月11日(木)、25日(木) 本牧原地域ケアプラザ健脳体操指導(健康教育部)
- ・5月11日(木) 作業療法科総合実習IV指導者オンライン会議(専門学校)
- ・5月16日(火)、23日(火) 生麦地域ケアプラザ コグニサイズ指導(健康教育部)
- ・5月20日(土) 夏季講習 Web 受付開始(健康教育部・英語学校)
- ・5月26日(金) 寿町炊き出しボランティア
- ・5月27日(土) YMCA 会員総会が聖光学院ラムネホールにて開催
- ・5月30日(火) 山梨 YMCA 総主事 来館(アフタースクール)

6月は第26回東日本地区大会が APIO 甲府(山梨県)で行われます。また地域活動の常盤町町内会清掃活動に参加予定です。

6月例会プログラム

日時: 6月8日(木) 18:30~20:30  
場所: 中央 Y + Zoom

司会: 大高ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3. 今月の聖句.....田口ワイズ
4. ゲスト・ビジターの紹介.....古賀会長
5. ビジネス・報告.....古賀会長  
(7月総会資料準備)

Happy Birthday 松島 美一

例会報告: 秋元ワイズ

**7月の行事**

日	曜	時間	行事内容	場所
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会・総会	中央 Y
22	土	15:00	第3回部評議会	中央 Y
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡下さい。

メール [tachibana\\_akemi@yokohamaymca.org](mailto:tachibana_akemi@yokohamaymca.org)

電話 045-661-0080